

令和6年度 第3回甲賀市社会教育委員の会議 定例会議事録(要約)

日時：令和6年(2024年)10月16日(水)

15時00分～16時40分

場所：あいこうか市民ホール展示室

出席者 (委員)西村委員、岡村委員、井ノ口委員、辻委員、古賀委員、東委員、
松本委員、木村委員、中村有委員、福井委員、石田委員 以上11名
(事務局)前田次長、伊東課長、上村参事、西森補佐、沢井社会教育統括指導員

傍聴者 なし

委員総数12名の内、11名が出席。甲賀市社会教育委員会議規則第3条第2項の規定により、過半数を満たし会議成立。

1. 開会 市民憲章唱和

2. あいさつ 前田教育委員会事務局次長

今、教育委員会では文化芸術振興条例という条例の作成の準備をしている。パブリックコメントが終わり、12月の議会に条例案を提出、4月1日から施行予定。この条例は心豊かでにぎわいのあるまちづくりをつくること、貴重な文化財や祭り等を伝承していくこと、交流を通じて開かれたまちづくりをするという理念をうたった条例です。

具体的にはこれからいろいろと考えていかなければならないが、ご協力いただくことがありましたら、よろしくお願いいたします。

さて、今日の協議事項では、図書館サービス計画と子ども読書活動推進計画、この2つの計画が今年度改定の年を迎えており、原案が出来上がっております。この原案に基づきまして、皆様方からの意見を伺い反映させていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 西村委員長あいさつ

暑い日が続いていたが、ようやく秋の気配が感じられ、読書やスポーツを楽しむよい時期になりました。本日は次第に従い、協議していただきますが、この後、社会教育指導員さんの会議が予定されているとのことで、4時半に終了したいと思いますので、提案いただく方は、簡潔にお願いしたいと思います。

4. 近畿地区社会教育研究大会分科会報告(別紙あり)

全体会 事務局復命書による

第1分科会 西村委員長 地域づくり(社会教育施設等の活用)

第1分科会は和歌山県の人口3000人の小さな町が公民館活動を中心とした社会教育活動についての発表。主な活動としては海外との繋がり、伝統文化の伝承、青少年の健全育成、ユースクラブ華道教室、中学生議会等様々な活動が報告された。

同じく第1分科会 中村委員から

問題提起者である先生の言葉、地域を知る子どもをどのようにつくり、子どもが考えたことをどうにかしようと考えていくのが大人の仕事、自分たちがやりたいことをする、自分たちが楽しめる活動をすることという言葉にすごく感銘を受け、これからの社会教育について、未来について前向きに諦めることなく、議論していきたいと思います。

第2分科会 古賀委員 地域づくり(地域創生・コミュニティ)

提案された丹波篠山市教育委員の瀬戸さんは、神戸大学の農学部学生の時に、地域おこし協力隊として、この地域に住んで半学半域型でまちおこしをされた。大芋地区で「ささやま寺子屋塾」を法人化して継続を目指し、現在も仕事として、継続。閉校された大芋小学校を「泊まれる学校おくも村」として活用。社会教育委員として、秋祭りの参加者を SNS で募集。誰でも気軽にこの地域づくりに参加できるようなシステムを作っていておられるということがすごいなあと感じた。

第4分科会 東委員 学校・家庭・地域の協働

「櫟本の挑戦」ということで、奈良県の櫟本小学校での実践の提案。核家族が進んで子どもの逃げ場がない中、みんなの居場所になるような図書室を開こうとポイントカードを作って、ポイントが貯まったら夢をつなぐプロジェクトをしようという夢応援プロジェクトに取り組む活動を地道に行う。ただ、後継者をどうしていくかが問題になっている。

第5分科会 辻委員 人権教育

滋賀県の竜王町の美松台女性連絡協議会の提案。地区の組織が縮小して人間関係がだんだん薄くなってきた。その危機感の中で有志で協議会を再生された。まず、子ども達の居場所づくりを活動の中の第一歩にした。毎週水曜日に集会所を開放されて、集団遊びを大人が見守り、子どもたちはリラックスしている距離感を感じている。今の自分で良いな、違っていてもそれは個性だという人権文化が、自然に根づいてきた。このことによって、子どもたちが変わってきたと感じられる。課題は、ボランティアに高校生や大学生世代の若い人が欲しいが、なかなか集まらない。

感想としては、地域と子どもの関わり方で、地域としての立ち位置みたいなものがとても参考になった。

5. 協議事項 ここからの司会進行は西村委員長

(委員長)それでは、協議事項の1つ目「甲賀市図書館サービス計画第3次計画」について、水口図書館館長より、特に社会教育委員に意見を聞かせて欲しい点を中心に10分程度で、説明をお願いいたします。

(水口図書館長) <資料に基づき説明>

(委員長)ただいまの説明について、ご質問とかご意見をお出しください。

(委員) 7 ページの具体的な取り組み(1)の③の「郵送貸出及び対面朗読の実施と関係機関との連携」と書いてあるが、実質的にはどういう機関と連携するのか。

(水口図書館長) 関係機関は、障がい福祉課をはじめボランティアをしておられる方に關わる関係課にもチラシ等で情報提供していきたい。

(委員) 1 点目は素案の中身に数値目標が出ているが、どんな形でこの目標っていうのは設定されているのか。2 点目で、水口図書館の新聞の閲覧について、いたずらや切り取りがあったので、開放していないと聞くがどうか。3 点目は児童サービスについて、子ども読書通帳によって、読書に興味を持って取り組む子どもたちも非常に増えていると思うので、文言をあげてはどうか。それから、検索のスピードが遅いようなので、施設の維持管理のところで改善を記載してはどうか。また、デジタル化の推進はどうか。最後に職員の働き方との関係があるが、甲南図書交流館の開館時間の延長についてどうか。

(水口図書館長) 新聞閲覧は 10 月から再開している。読書通帳についてはぜひ記載を考えてみたい。本の検索のスピードについては改善しているが、施設面については、特に水口図書館は老朽化が進み、5 館のあり方について検討を始めているところ。開館時間も今後検討していく。目標は「甲賀市図書館活動報告書」に毎年掲載している統計資料などから設置しており、図書館協議会で外部評価していただいているもので、ホームページにも掲載している。

(委員) 学習支援について、いろいろな本を入れていただいているが、活用状況はどうか。

(水口図書館長) 手元に資料がないので、後ほど回答したい。(後日回答: 令和 3 年度 29 回、令和 4 年度 12 回、令和 5 年度 13 回。コロナ禍以降は、学校司書やクラス担任が様々なテーマで直接図書館に借りに来られることが多くなっている。)

(委員長) 協議事項の 2 つ目の「甲賀市子ども読書活動推進計画第 4 次計画」につきまして、甲賀図書館長より、特に社会教育委員に意見を聞かせて欲しい部分を中心に 10 分程度で説明をお願いします。

(甲賀図書館長) <資料に基づき説明>

(委員長) それでは、今の説明につきまして質問をお願いします。

(委員) 小中学校における子ども読書活動推進について、学校現場では子どもたちはタブレットを使うようになって本を読んでいない。危機感を感じている。図書館の読書計画があっても学校と連携しなくては効果が上がらないのでは。

(委員) 小さいときに本に触れ合う機会がつけられるブックスタートの取り組みはありがたい。これが小学校や中学校につながっていかないと聞いて残念だ。子どもたちが自主的に本を読んでいくには、どうすればいいか課題だ。

(甲賀図書館長) 子どもの読書離れが進んでいるというのは理解している。学校現場とも連携をさらに進めていく必要を感じている。

(委員) 学校図書館への新聞配置について、資料の配置割合が少ない。全校に配置するよう

にならないか。

(甲賀図書館長)新聞離れもあるが、学校の要望に応じて配置していきたい。

(委員)私も数は少ないが、子ども新聞を楽しみにしている児童の姿は見ている。予算の関係もあるが、配置校が増えるようにしてほしい。また、図書館司書やボランティアさんの取り組みも大きいので、このことも記載されてはどうか。

6. 公民館を拠点とした社会教育の取り組み

(委員長)次の項目に関して事務局よりお願いします。

(事務局)今日の後半は公民館を拠点とした社会教育のあり方について、4館の館長さんから各公民館における取り組みや現状報告をしていただきます。資料の中に公民館に関する資料をつけておきました。今後の研修会に参考にしていただけたらと思います。

(委員長)水口公民館長さんからお願いします。

(水口公民館長)本年度新築で、現在駐車場工事も行われ大変な状況で運営している。現在、公民館では講座が主体的に出来ていない現状。委託事業として「夢の学習」がいろんな事業をしている。唯一、今年甲賀公民館で行われている親子で楽しむ天体観望会を2回取り組むことが出来た。次年度以降に親子料理教室等にも取り組みたい。社会教育指導員として、地域学校協働活動や人推協、青少年育成の仕事もしている。

(土山公民館長)土山町では、今年度から土山地域市民センターに事務所を置いて3人で勤務している。水口と同じく夢の学習に全面委託しており、公民館としては、できるだけ参加参画支援指導という形で関わっている。スタッフさん中心になっていただく方が6名で、ボランティアさん56名という体制、事業計画の協議を進めている。

(甲賀公民館長)かふか生涯学習館の中にある甲賀公民館は、シルバー大学と子ども天文クラブと天体観望会3つの事業に加え、夢の学習の委託事業を行っている。その他、サークル活動をしておられる28団体がある。シルバー大学は、今年度甲賀市内全域に募集を広げて参加者が増えた。歴史クラブは、各公民館の協力を得て、市内各地で展開している。子ども天文クラブは、4年生以上の子どもを募集しているが、人気が高い。本館3階の望遠鏡の維持、メンテナンスが必要なこと。夢の学習とは常に甲賀にとって必要な課題や特色のある活動を進めている。課題は夢の学習事務局スタッフが少ないことや大人の教室への参加者が固定化されていることで、サークル化や公民館で活動していることを、地域学校協働活動に移行していきたい。

(甲南公民館長)甲南は、甲南公民館と情報交流センターが1つの建物となっている。公民館は、貸館事業が中心だが、予約が取りにくい状況にある。今年度から甲賀のご協力もあり、天体観望会を行う。シルバー大学については、1月に行う予定。夢の学習も甲南にはあるが、進め方について夢の学習と協議をしている。来年度は公民館独自の事業も進めようと考えている。社会教育指導員として、各学校へのコミュニティスクールの推進、設立にもかかわっている。

(委員長)今回は限られた時間でしたので、説明のみで終わりますが、次回質問するという形でよろしいでしょうか。

(事務局)今日はテーマである「公民館を拠点とする社会教育のあり方」について研究を深めるきっかけにしたいので、次回今日の報告を受けてさらに深めたいと考えているが、公民館事業の先進地の研修も考えている。講師の都合もあるので、時期や内容の詳細については委員長、副委員長と事務局で詰めたいと考えているので、ご了解をいただければ、ありがたいと思います。

(委員長)以上でありますので、次回についても、事務局に任せていただければ、よろしいでしょうか。進行は以上となります。たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。事務局の方にお返しさせていただきます。

(事務局)11月11日の午後に滋賀県の社会教育研究大会があります。参加を希望される委員さんはラインにて申し込みしてください。名札は公民館の講座等訪問の際に使ってください。

7. 副委員長閉会あいさつ

今日はお疲れ様でした。研究大会の報告、図書館サービス計画等や公民館からの情報等盛りだくさんになりました。各方面について、いろいろご意見いただき、今日はこれで終わります。ありがとうございました。